

プロジェクト管理ツールを チームビルディングで 有効活用する方法とは？

著者 長沢 智 治

サーバントワークス株式会社 代表取締役

“進んでるね！”で、チームは進む。

みんなが使う簡単、便利なプロジェクト・タスク管理ツール

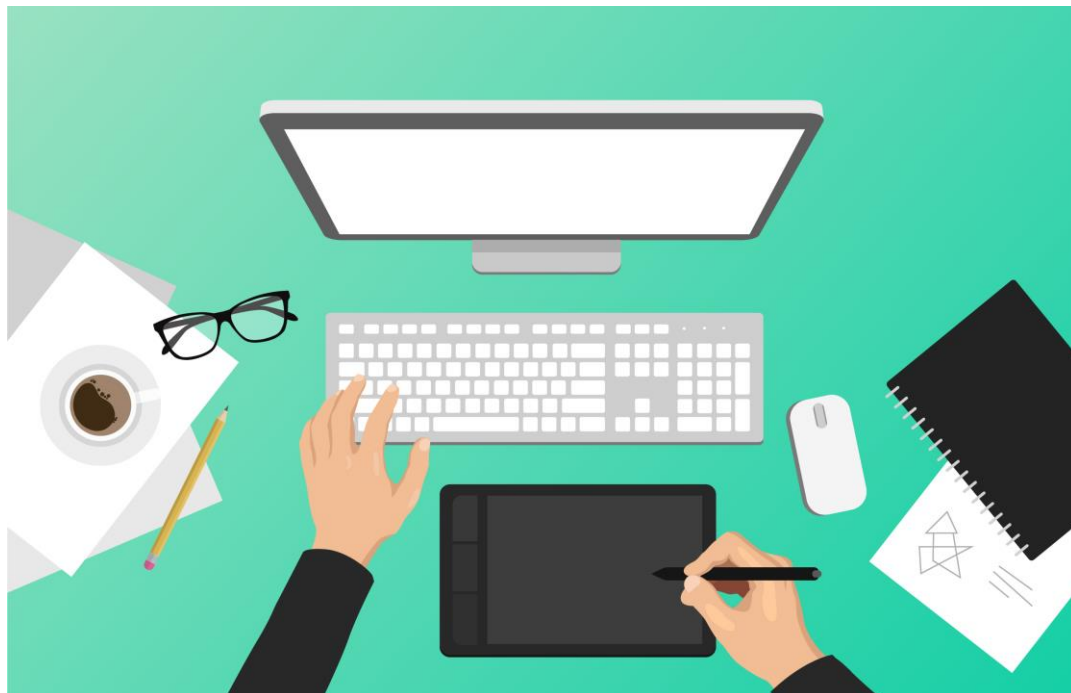
backlog
by nulab



はじめに

本資料で指しているツールは、課題管理型のプロジェクト管理ツールです。Backlogを含めて、本資料では、それらを総称して「ツール」と表現しています。

この資料では、同じ景色を見続けるためにプロジェクト管理ツールをどのように活用するのか、その方法をご紹介します。



著者

長沢 智治

ながさわ ともはる

サーバントワークス株式会社 代表取締役
DASA Ambassador

ソフトウェアエンジニアリングのライフサイクル全般を経験し、ソフトウェア開発と業務改善を行う現場を支援する側に転身。ラショナルソフトウェア、アイ・ビー・エムなどで多くの現場の支援活動を実施。

マイクロソフト、アトラシアンでエバンジェリストとして、アジャイルやDevOpsなどの認知向上活動を行う。マイクロソフトではプロダクトマネージャーとエバンジェリストを兼務。

独立後は、アジャイルコーチ/アジリティコーチとして現場チームと組織の経験主義へのトランスフォーメーション支援や、プロダクト戦略やマーケティング戦略のアドバイザー、研修事業を展開中。

課題管理型のプロジェクト管理ツールとは

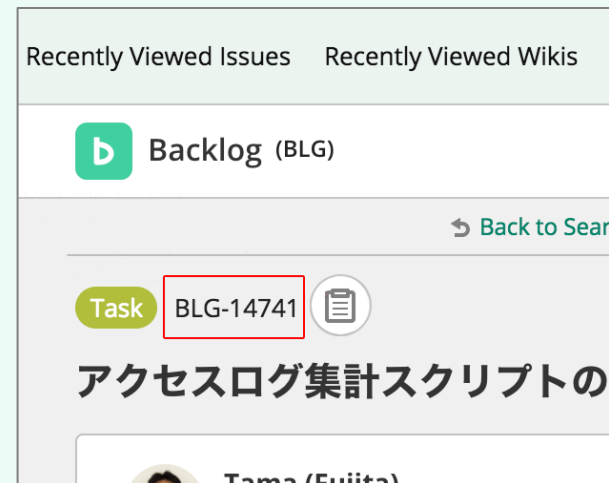
課題管理型のプロジェクト管理ツール（以下ツール）は、プロジェクトの計画、実行だけでなく、課題やタスクの追加や意思決定でも活用できます。

課題やタスク単位で関係者を結束して、計画、実行、そして完了までを追跡可能にするため、多くのプロジェクトでほぼ必須なツールとして活用されています。

また、すべての関心ごとが課題やタスクとして集約されているため、プロジェクトの「情報ハブ」としての役目を果たします。

情報ハブは、Gitなどのバージョン管理ツールで管理しているソースコードの成果物に関連づけできます。なので、情報をたどることで成果物を確認できます。

逆に、Backlogにある機能で「課題キー」と呼ばれる課題ごとに割り振られている番号を活用することで、成果物から情報ハブにたどりつけるというメリットもあります。言い換えると、情報ハブとは、双方向に追跡可能な状態を指します。



※赤枠内の英字と番号が課題キー

課題キーとは？

課題に振り当てられた番号となります。例えば「BLG」プロジェクトに最初に作った課題の課題キーは「BLG-1」になります。

同じ景色を見続けるためにツールを活用する

Backlogはプロジェクトの現状や全体像の把握にも役立ちます。また、Backlogの特性として、全体から特定の状態のものだけを抽出して、全体のボリューム感や進捗傾向などを知ることができます。

そこでチームが同じ景色を見続けるために重要な指標となるのが「傾向」です。

時系列に従い、ひとつひとつの課題の情報が履歴として残っていくので、これらを集計することで、時系列での情報の傾向を見ることができるようになります。

右の表であげている3つの項目は、同じ景色を見るための重要な要素になり得ます。

Backlogを活用することで、チームの傾向を見ることができ、プロジェクトの現在の状態を知ることができます。

他にも、作業の進捗レポートなどをチームで見るとは「同じ景色を見ている」という連帯感を生み出しますし、例えば、特定の人を責めにくくなるという効果があります。

逆に、課題やタスク単位で切り取って見ると、担当者がいるので、結果として担当者を責めてしまうことがあります。

人ではなくチームに、人ではなく問題にフォーカスする意味でも、全体の傾向を見る癖をつけておくとい良いでしょう。そうした癖をつけるという意味でも、Backlogのようなツールを使うのは最適なのです。

項目	説明
見積 / 実績	チームメンバーの負荷状況（ワークロード）。
課題の状態	作業の進捗度合い。未対応・処理中・処理済み・完了の4つに分けられる。
バーンダウンチャート	作業の進捗を右肩下がりのグラフで示したもの。実績線、計画線、理想線の3つの線にもとづく。

ツールでチームの健康状態をチェックする

Backlogにはチームの状態が時系列で蓄積されるという特徴があります。チームの傾向はもちろん、チームがうまく機能しているのかという健康状態を知ることができます。

最初はぎこちなかったチームが次第に円滑に活動できるようになってきたり、円滑だったチームがある日を境にぎこちなくなっていく様などが見て取れるわけです。

それぞれの傾向の変化は決してネガティブものばかりではなく、ポジティブなものもあります。それらをどう判断するかはまさしく「チームとして共通認識を持てるか」にかかってきます。

ここで気にしておくべきことは「個別の課題の傾向」ではなく「全体としての課題の傾向」です。傾向に対してチームとして「妥当」と思えるならば問題ありません。

ただし、個別に不満や問題意識を持ち、見解が異なるならばその要因を追求しましょう。

人それぞれの感情を伴うこともあるため、朝会などの定例ミーティングや日々のフィードバックではなかなか顕在化されないものもあります。ツールは今のチームの健康状態をある側面から映し出してくれる映し鏡にもなるので活用しましょう。

■ チームの不調サインをツールで早期発見

これから上げる3つの傾向が、ツール上で見られたら要注意です。些細な変化から得る情報は、時にチームにとって有益になる場合があります。チームに異変がないか、早期発見することがチームビルディングでは重要です。

1

以前よりも、課題の進捗が著しく遅くなった

2

以前よりも、ツールに課題が登録されなくなった

3

以前よりも、ツール上でのコミュニケーションが減った

ツール導入時にハマるワナ

ツール導入時には、資料で見かけた綺麗なプロジェクト管理ができていないとか、Backlogであればバーダウンチャートが綺麗に落ちていかななどレポートが美しくないことでモチベーションが落ちることがあります。

しかし、「全員が同じ景色を見ている」と思えば大した問題ではありません。最初からうまくいくことはありませんし「現状が見えた、そしてそれをチームで認識できた」と思えば良いのです。

最初からうまくいくことはありませんし「現状が見えた、そしてそれをチームで認識できた」と思えば良いのです。実は、ツール導入時にご相談でもっとも多いのが期待値と現実のギャップです。

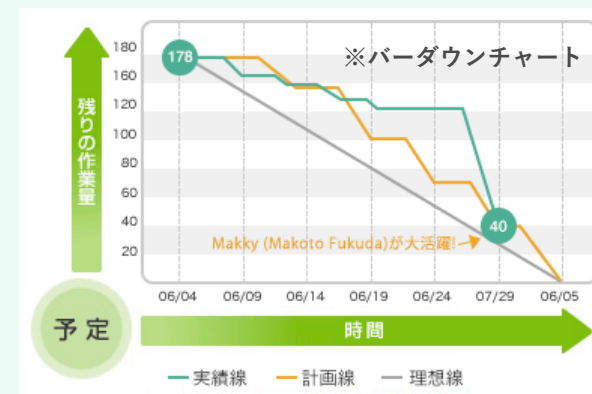
理想と現実のギャップが原因で、モチベーションが下がってしまったり、ツールが良くなかったとツールを変えてしまったりすることがあります。

現状を知って、そこから課題を見つけることは健全なことです。ツールが映し鏡として見せてくれた現実を受け止められれば、あとは段階的に改善していけば良いだけです。

その改善の模様はツールによって映し出されますので、モチベーションを保つことに役立つはず

バーダウンチャートとは？

「期限までに全ての作業を消化できるのか？」ということが一目で分かるグラフです。

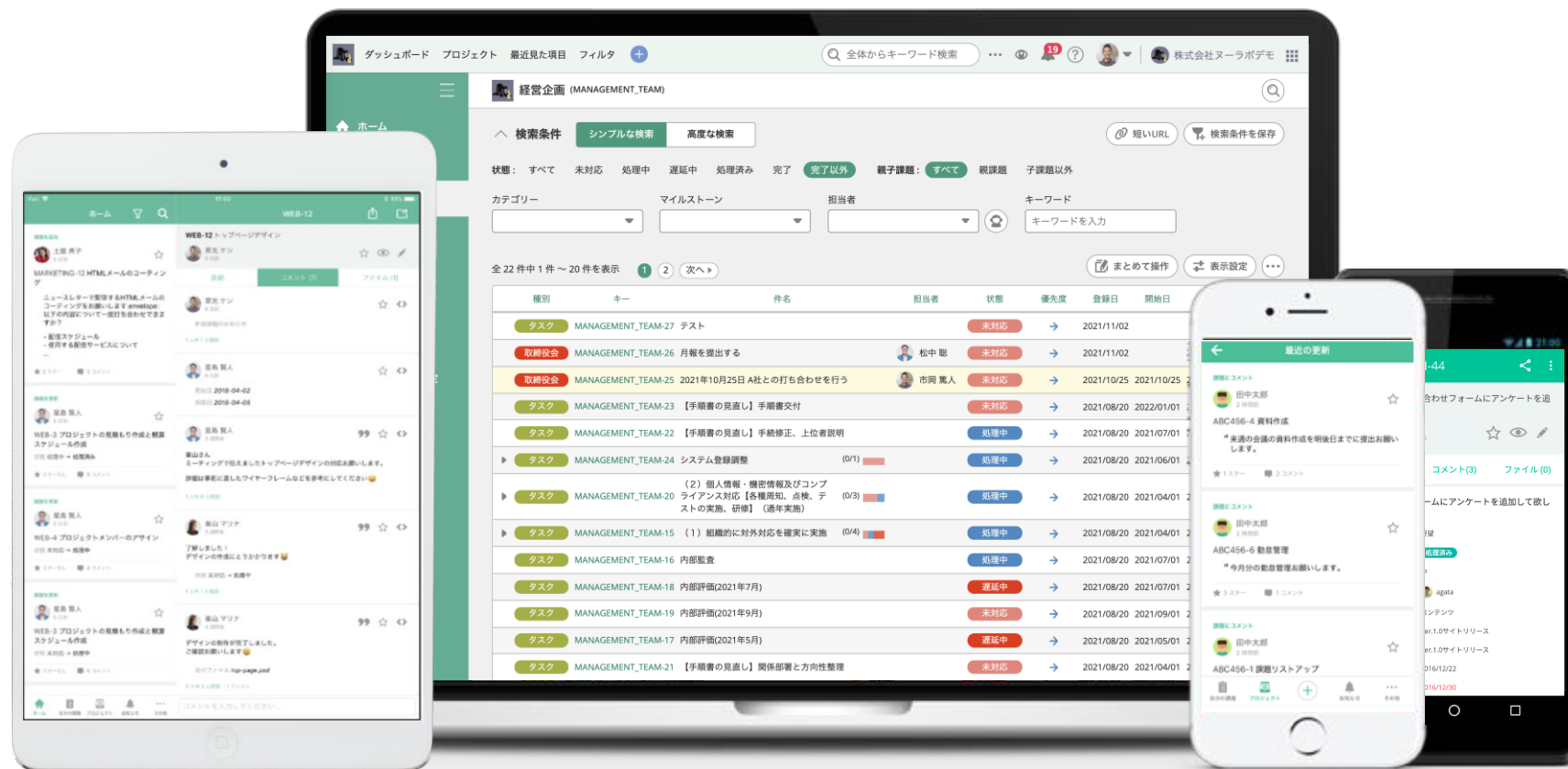


“進んでるね！”で、チームは進む。

みんなが使う簡単、便利なプロジェクト・タスク管理ツール

backlog サービス紹介

by nulab



みんなで使う簡単、便利なプロジェクト・タスク管理ツール

- タスク管理やWikiなど情報共有に関する豊富な機能がオールインワン
- 直観的に操作が可能なインターフェース
- SaaS版／インストール版の2つの形態で提供

担当者・期限を明確に



チームのタスクを、担当者や期限を明確にして課題を予定通りに完了させましょう。課題の更新はBacklogやメールで受け取れます。

ガントチャートで可視化



プロジェクト計画をガントチャートで可視化します。メンバーの進捗を把握することで、作業の遅延にいち早く気づけます。

Wikiでドキュメント管理



Wikiは個人メモ、会議の議事録、作業マニュアル、仕様書などチームメンバーに向けた情報を文章で管理します。リンク共有やPDF出力にも対応しています。

モバイルアプリも対応



モバイルアプリ（iOS/Android）を利用すれば、外出先でもプロジェクトの進捗を確認したり、課題の追加やコメントを投稿できます。

プロジェクト管理が、驚くほど「簡単に」

可読性の高いユーザーインターフェースで、プロジェクトやタスクを
簡単に管理できる親しみやすいサービス

The screenshot displays the Marumaru Project Management web application interface. At the top, a navigation bar includes links for 'ダッシュボード' (Dashboard), 'プロジェクト' (Project), '最近見た項目' (Recently viewed items), and 'フィルタ' (Filter), along with a search bar for '全体からキーワード検索' (Search from all) and user profile information for 'マルマル株式会社' (Marumaru Co., Ltd.).

The main content area is divided into two primary sections:

- プロジェクト (Projects):** A list of projects with icons and names: 'マーケティング部' (Marketing Dept.), '新商品開発' (New Product Development), '総務部' (General Affairs Dept.), '会社全体' (Company-wide), and 'マルマルシステム運用' (Marumaru System Operation).
- 最近の更新 (Recent Updates):** A feed of task updates from '市岡 篤人' (Shioka Atsuro). Each update includes a task title, a '更新' (Update) button, and a star icon for marking as important.

Below the project list, there is a section for '自分の課題' (My Tasks) with filters for '対象' (Target) and '期限日' (Deadline), and a table of tasks with columns for 'キー' (Key), '件名' (Subject), '優先度' (Priority), '状態' (Status), and '期限日' (Deadline).

簡易な操作性

従来のプロジェクト管理ツールのような複雑さは見られず、
シンプルでわかりやすいためIT知識がなくてもすぐにご利用いただけます

課題の状態

課題（やること）は標準で4つの状態を選択できます。

※1つのプロジェクトにつき最大8つまで、状態を追加することもできます。

未対応

処理中

処理済み

完了

＝

状態 処理済みに設定

● 処理中 ▼

担当者 私が担当 開始日

 三宅 彩 ×  2022/01/18 ×

マイルストーン 複数選択 期限日

▼  2022/01/21 ×

完了理由 対応済みに設定 予定/実績

▼

1

@三宅 彩
素材の準備ができました！
添付いたしますのでご確認よろしくお願いします！

@ 😊 B I S ≡ 1/2/3 ≡ ” {} ?

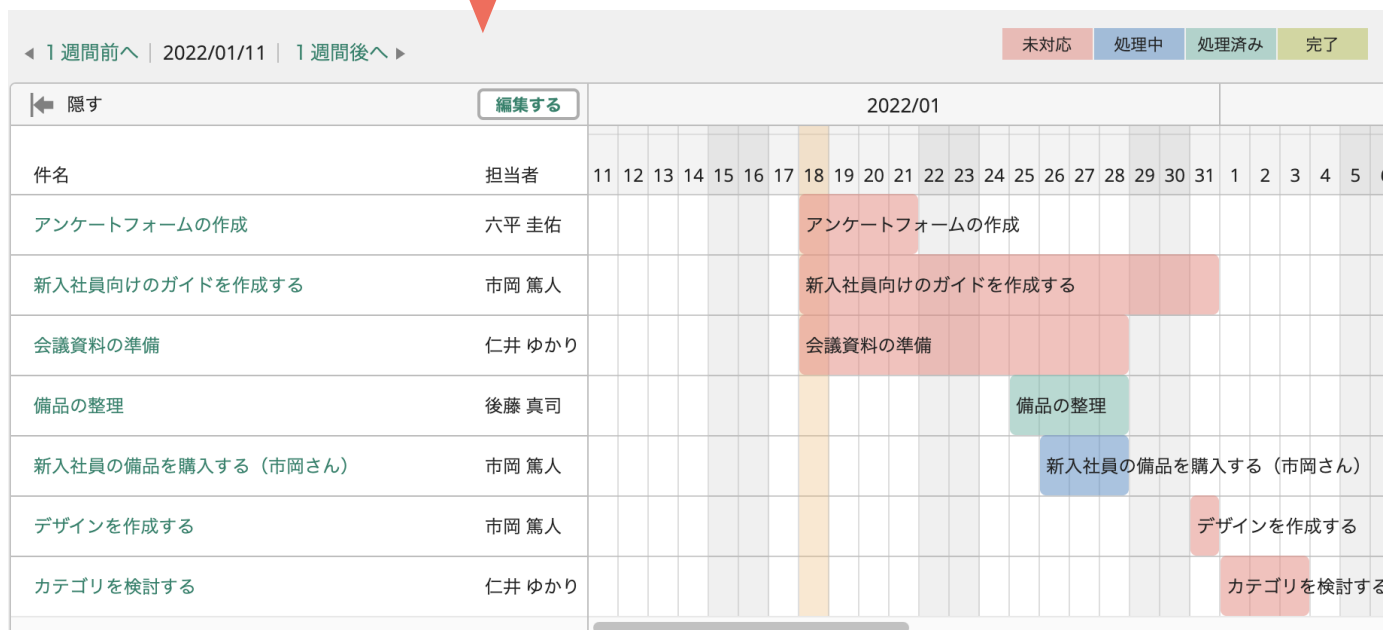
 仁井 ゆかり × | ×

閉じる プレビュー 登録

充実した課題管理機能

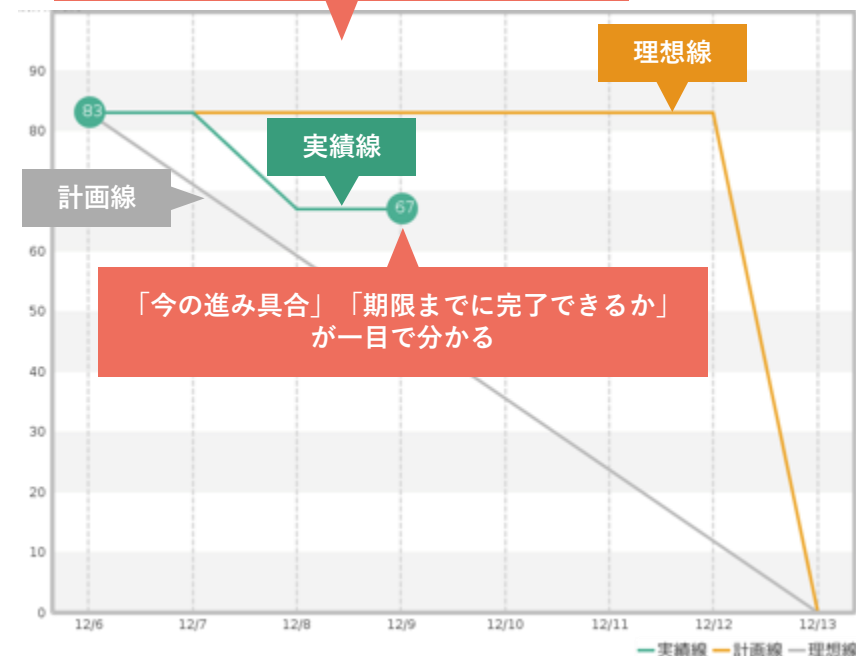
課題を登録する際に期限やマイルストーンを登録すると、
自動でガントチャートとバーンダウンチャートが作成されます

課題の開始・終了・プロジェクト全体の計画が一目瞭然



ガントチャート

マイルストーンまでの残り作業量の推移を、
理想線・計画線・実績線で表示



バーンダウンチャート

Wikiを使った文章管理

マニュアル作成、会議の議事録、個人のメモなど、使い方は自由自在



Wikiの主な機能

- ・外部サイトにリンクすることができます
- ・文字の装飾や絵文字の利用が可能です
- ・ファイルを添付することもできます
- ・編集履歴も残ります
- ・PDFとして出力できます
- ・紙の印刷にも対応しています

対応している記法

- ・ Markdown記法
- ・ Backlogの独自の記法
- ・ 記法はプロジェクトごとに設定可能

多くの企業様に導入いただいています

IT、人材、小売、保険から製造業まで幅広く活用されています

BOXIL SaaS AWARD 2021
コラボレーション部門賞



テレワークセキュリティ賞

ITreview Grid Award 2021 Winter
(プロジェクト管理部門「Leader」)



オンライン説明会も開催中

Backlogの導入を検討している方を対象に、実際の画面を見ながらBacklogの使い方を紹介する無料のオンライン説明会を開催しています。

トライアル中の方に向けたセミナーも別途開催しております。お客様の状況に合わせて定期的を開催していますので、お気軽にお問い合わせください。

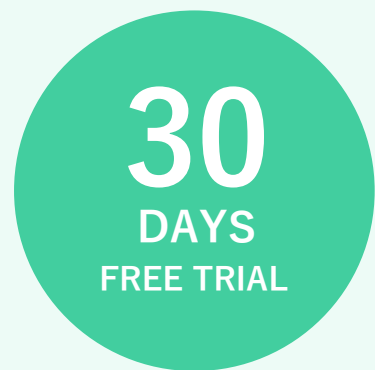
スケジュールを確認する



こんな方におすすめ

- プロジェクト・タスク管理のBacklogとは？
- Backlogでどんなメリットがあるの？
- 実際のBacklog画面を見ながら利用シーンを紹介

はじめてご利用の方も安心！30日間無料＆サポート体制



30日間の無料期間中も
全機能使えるから安心

トライアル中も全ての機能を使用でき、データは正式登録後もそのまま移行できます。



安心と充実の
サポート体制

経験豊富なスタッフがお悩みをすぐに解消します。個別相談にも対応可能です。



基礎知識は動画や
勉強会でも学べる

操作方法是動画で簡単に学べます。また、ユーザーが集まるコミュニティで定期的に勉強会も開催しています。

公式パートナーによる導入 / 技術支援

ご検討中のお客さまへの**導入および運用支援を行う**パートナー企業とも提携しています

 SB Mobile Service

mgn

 OPEN
TONE

GEAR 8 

 GR GRANCERS

 StrategIT

 DigitalCube

Japan Project Solutions Inc.

Your Project Management Partner

ヌーラボサービスを活用し、業務改善の成功事例を数多く持ってらっしゃるパートナーです。
安心してお気軽にご相談ください。

お問い合わせ

本資料に関するお問い合わせや相談は
以下までご連絡ください。

お問い合わせはこちら

会社概要

社名	株式会社ヌーラボ
設立	2004年3月
事業内容	プロジェクト管理ツール『Backlog』の開発・運用 ビジュアルコラボレーションツール『Cacoo』の開発・運用 ビジネスチャットツール『Typetalk』の開発・運用 ヌーラボ製品のセキュリティ&ガバナンス管理ツール『Nulab Pass』の開発・運用
本社	福岡県福岡市中央区大名一丁目8番6号
国内拠点	東京事務所、京都事務所
海外子会社	Nulab, Inc. (ニューヨーク) Nulab ASIA Pte.Ltd. (シンガポール) Nulab, B.V. (アムステルダム)